



水戸市マスコットキャラクターみとちゃん

水戸市ニュースリリース



令和7年10月9日

市政記者各位

水戸市

特別展「洋服と和服の100年」の開催について

水戸市立博物館では、下記により特別展「洋服と和服の100年」を開催します。

現在和服は、特別な場合を除き日常では着用されなくなっていますが、80年ほど前までは一般的な衣服でした。現在のように誰もが洋服になったのは、昭和30～50年代になってからです。またその頃は、洋裁を習うための裁縫学校も全国で多数開校していました。

水戸市は県庁所在地ということもあり、明治以降、女学校等で広く裁縫教育が行われていました。戦後は多くの洋裁学校が開かれています。既製服が大量生産される流れの中で、それらの大半はなくなっています。

当展覧会では、日本人の衣服がどのように移り変わっていったのか、実物資料や当時の写真を交えてその経緯を追いつつ、併せて、戦前から戦後の水戸の学生の服装などを展示します。

記

- 期間** 令和7年10月25日（土）～11月30日（日）
※月曜及び11月4日（火）、25日（火）は休館
※11月3日（月・祝）、24日（月・振）は開館
- 時間** 9時30分～16時45分（入館は16時15分まで）
- 会場** 水戸市立博物館4階・3階展示室（大町3-3-20）
- 入場料** 一般200円（20名以上の団体は150円）、その他の割引あり（別添チラシ参照）
- 主な展示資料**
 - ・香川志保子着用 ヴィジティングドレス（明治末～大正初期）茨城県立歴史館所蔵
 - ・香川志保子着用 喪服（明治末～大正初期）杉野学園衣裳博物館所蔵
 - ・秩父宮勢津子妃着用大礼服（昭和10年頃）文化服装学園博物館所蔵
 - ・中村勝馬 縮緬地友禅黒留袖（昭和30年）水戸市立博物館所蔵

6 関連行事

会期中、「着せ替えドレスフレームを作ろう」等の関連行事を開催します。

（詳細は、別紙チラシ参照）

<関係者・記者向け内見会のお知らせ>

下記のとおり内見会を行います。ぜひ、お越しください。

- 日時**：10月24日（金） 14時～15時
- 会場**：水戸市立博物館4階展示室
- 受付**：会場内で受け付けますので、当日、直接4階展示室へお越しください。

《本件に関する問合せ先》

課 名：水戸市立博物館
電話番号：029-226-6521

担 当 者：小野瀬（おのせ）



中村勝馬 縮緬地友禅黒留袖(当館蔵)



ヴィジティングドレス(茨城県立歴史館蔵)

≡ 特別展 ≡

洋服と和服の 100年

令和7年10月25日(土) → 11月30日(日) 水戸市立博物館 4階・3階展示室

開館時間▶9時30分～16時45分(入館は16時15分まで)／休館日▶月曜日および11月4日(祝)・25日(祝) ※11月3日(祝)・24日(祝)は開館

料金▶一般200円(20名以上の団体は150円)着物の方は団体割引料金など各種割引あり

18歳以下・65歳以上、身体障害者手帳等保持者とその付き添いの方一名、茨城県民の日(11月13日)、ハッピーホリデー(土日祝は18歳以下のお子様一人につき大人一名)は無料

水戸市立博物館 〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20 TEL.029-226-6521
URL: <https://www.city.mito.lg.jp/site/museum>



博物館HP



公式SNS

特別展 洋服と和服の100年

現在和服は七五三や成人式などの特別な場合を除き、日常では着用されなくなっていますが、80年ほど前までは和服が一般的な衣服でした。現在のように誰もが洋服になったのは、昭和30～50年代になってからです。既製服が大量生産されるのも昭和40年代前後からで、それまでは家庭で手作りしたり、近所の洋裁の出来るミシンを持っている人に頼んで縫ってもらったりしていました。またその頃は、洋裁を習うための裁縫学校も全国で多数開校していました。

水戸市では、明治以降女学校等で広く裁縫教育が行われていました。また戦後は多くの洋裁学校が開かれています。既製服が大量生産される流れの中で、それらの大半はなくなっています。

当展覧会では、日本人の衣服がどのように移り変わっていったのか、実物資料や当時の写真を交えてその経緯を追いつつ、併せて戦前から戦後の水戸の学生の服装などを展示します。



①



②

③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬

関連行事

《着せかえドレスフレームを作ろう》

フレームの中に色々な布地を貼り付けて可愛いドレスを着たトルソーを作ります。

日時▶11月13日(日) ①10:00～11:00 ②11:30～12:30

講師▶茨城県立水戸高等特別支援学校生徒/定員▶各回10名[小学校低学年以上]

材料費▶110円/申込▶10月22日9時から先着順

《蓄音機のレコード鑑賞会》

大正～昭和初期に作られたレコードを手回し蓄音機で聴いてみませんか？

日時▶11月1日(日) ①10:30～11:00 ②14:00～14:30

参加費▶無料[入場券が必要]/会場▶展示室4階



《レトロ着物コーデ研究会》

昭和初期の着物帯や羽織、小物を合わせコーディネートを楽しみます。

日時▶11月9日(日)

①13:30～14:30 ②15:00～16:00

参加費▶無料/会場▶視聴覚室

※マネキンを使った着付け、参加者の実際の着用はありません

《担当学芸員によるギャラリートーク》

日時▶10月25日(日)・11月23日(日) 両日とも14:00～

参加費▶無料[入場券が必要]

会場▶展示室4階

- ① 水戸高等女学校生徒写真(当館蔵)
- ② 水戸高等女学校の梅バンド(個人蔵)
- ③ シルクハットとケース(当館蔵)
- ④ 手回しミシン(当館蔵)
- ⑤ ミシン刺繍作品と見本(当館蔵)
- ⑥ 中村光哉「訪問着・雲と波」(当館蔵)
- ⑦ 陸軍大礼服(当館蔵)
- ⑧ 大礼服(文化学園服飾博物館)
- ⑨ 喪服(杉野学園衣裳博物館蔵)
- ⑩ イブニングコート(茨城県立歴史館蔵)
- ⑪ ミニドレス(杉野学園衣裳博物館蔵)
- ⑫ 明治後期の洋装の子供(個人蔵)
- ⑬ 旧制水戸中学校生徒写真(当館蔵)



交通の案内

JRバス：JR水戸駅から大工町方面行きバスで

南町三丁目下車、常陸太田方面へ徒歩10分

クルマ：常磐自動車道水戸インターまたは那珂インターより水戸方面へ20分

常磐自動車道水戸北スマートインターより水戸方面へ10分

駐車場：約20台(無料・中央図書館と共用)

満車の場合は周辺駐車場(有料)をご利用ください